

館蔵企画展「没後30年－藤本能道展」

会期：2022年11月19日（土）～2023年1月15日（日）

主催・会場：青梅市立美術館

協力：藤本工房

第Ⅰ章 はじまりと葛藤

通番	作品名	制作年	技法	サイズ
1	《色絵広口花器（色絵花壺）》	1946年	磁器	23.2×18.3
2	《赤絵小壺》	1946年頃	磁器	13.2×12.9
3	《色絵草文捻徳利》	制作年不詳	磁器	9.5×10.0×17.0
4	《もだえ（オブジェ）》	1956年	陶器	15.6×30.7×57.4
5	《柿釉壺》	1962年頃	陶器	26.4×43.9
6	《象嵌銅鉄流し花器》	1953年	陶器	23.8×17.5
7	《黒釉丸文瓶》	1962年	陶器	20.2×26.2
8	《鉄釉彩蓋付小壺》	1963～64年頃	陶器	10.8×12.5
9	《黒釉彩壺》	1963年頃	陶器	21.8×28.5
10	《柿釉彩壺》	1963～64年頃	陶器	20.3×34.1
11	《オブジェ》	1956～62年頃	陶器	12.9×17.1×22.5
12	《黒釉丸文瓶》	1962年頃	陶器	28.1×35.0
13	《鉄釉黒彩花瓶》	1963年	陶器	26.6×37.2
14	《赤絵花器》	1965年	磁器	24.5×26.8
15	《柿釉イッチン彩丸皿》	1965年	陶器	38.0×7.5
16	《緑釉金彩彩文大壺》	1972年頃	陶器	34.2×35.0
17	《鉄釉彩丸大皿》	1964年	陶器	51.0×8.5
18	《オブジェ 4》	1963年	陶器	40.0×40.0×85.0
19	《オブジェ》	制作年不詳	陶器	25.0×25.0×55.2
20	《オブジェ 2》	1962年	陶器	45.0×20.0×107.0
21	《オブジェ 3》	1963年	陶器	40.0×57.0×89.0
22	《色絵兎図陶板》	1963～64年頃	磁器	36.8×30.0×1.5
23	《色絵木魂陶板》	1963～64年頃	磁器	24.4×17.1×2.0
24	《染付色絵流水文陶板》	1963～64年頃	磁器	34.2×25.0×2.2

第Ⅱ章 青梅の自然に魅せられて

25	《草白釉釉描色絵金銀彩夕陽・鶴六角陶板》	1983年頃	磁器	55.1×61.5×2.0
26	《翡翠図陶板》	1985年	磁器	19.5×13.5
27	《雪白釉釉描狐図長四角陶板》	1984年頃	磁器	59.6×28.8×2.5
28	《草白釉釉描色絵金銀彩鷺舞上る四角陶板》	1983年頃	磁器	54.6×54.6×2.5
29	《梅白釉釉描色絵金彩月下樹陰五位鷺図四角皿》	1990年	磁器	38.3×38.3×4.7
30	《染付牧牛図丸皿》	1982年	磁器	32.6×3.0
31	《緑釉金彩翡翠図壺》	1987年頃	磁器	14.0×24.5
32	《瑠璃釉金彩翡翠図壺》	1987年頃	磁器	12.0×20.0

33	《雪白釉描色繪金銀彩兔文壺》	1986年頃	磁器	25.5×28.0
34	《草白釉描色繪金銀彩木乃葉づく扁壺》	1990年	磁器	21.5×37.6×37.9
35	《梅白釉描色繪金彩鴉落葉図扁壺》	1990年	磁器	27.5×31.5×34.0
36	《草白釉唐草飛鳥文長四角管》	1987年頃	磁器	16.5×30.0×7.5
37	《雪白釉描色繪樹陰落葉鴉図四角管》	1991年	磁器	27.0×27.0×8.0
38	《雪白釉描色繪金彩樹陰雉鳩図四角大皿》	1991年	磁器	33.4×33.4×12.1
39	《オブジェ 1》	1962年	陶器	60.0×107.0
40	《雪白釉描色繪銀彩花鳥図壺》	1989年	磁器	14.0×24.5
41	《草白釉描金彩椿尉鶴図八角面取壺》	1986年	磁器	25.2×30.8
42	《雪白釉描色繪金銀彩鴨の図壺》	1986年頃	磁器	14.5×15.0×25.0
43	《梅白釉描色繪金銀彩翡翠図扁壺》	1989年頃	磁器	17.6×28.0×31.5
44	《草白釉描色繪樹陰宿鴉図八角大皿》	1984年頃	磁器	47.0×47.0×5.5
45	《草白釉描金彩鳶之図扁壺》	1986年	磁器	14.0×27.5×29.0
46	《オブジェ 5》	1963年	陶器	50.0×75.0×40.0
47	《雪白釉描色繪黃鵠鴿図壺》	1986年頃	磁器	27.5×23.5
48	《草白釉描色繪金彩尾長図四角大皿》	1989年	磁器	32.3×32.3×8.1
49	《草白釉描加彩翡翠図大皿》	1986年	磁器	46.8×5.8
50	《草白釉描色繪金彩翡翠図四角大皿》	1987年頃	磁器	33.5×33.5×12.5
51	《雪白釉描色繪金彩月と鴨の図四角小皿》	1988年頃	磁器	20.9×20.9×8.9
52	《雪白釉描色繪銀彩翡翠図扁壺》	1986年頃	磁器	21.5×39.5×38.0
53	《梅白釉描色繪金彩水辺の鳥扁壺》	1989年頃	磁器	21.5×38.5×38.5
54	《草白釉描色繪水辺小禽図壺》	1988年頃	磁器	23.5×28.0
55	《梅白釉描色繪金彩月明五位鷺図四角大皿》	1991年	磁器	32.0×32.0×9.5
56	《草白釉描金銀彩枯葉鷗之図四角管》	1986年	磁器	26.5×26.5×5.0
57	《草白釉描金銀彩宿鴉夕陽図四角隅切管》	1986年	磁器	26.4×26.4×8.0
58	《草白釉描色繪金銀彩山雀図六角隅切大皿》	1989年頃	磁器	48.9×45.6×6.0
59	《草白釉描金彩夕陽乱舞大皿》	1986年	磁器	54.3×5.5
60	《草白釉描色繪金銀彩尾長群飛十二角大皿》	1989年頃	磁器	52.6×52.6×6.2
61	《梅白釉八角皿 (未完)》		磁器	38.6×5.0
62	《梅白釉描色繪金彩木乃葉づく八角大皿》	1991年	磁器	47.0×47.0×5.5

第Ⅲ章 心象の色絵と未完の構想

63	《雪白釉六角管 (未完)》		磁器	31.3×29.0×10.8
64	《雪白釉六角小管 (未完)》		磁器	17.3×18.6×8.5
65	《梅白釉四角隅切小管 (未完)》		磁器	18.8×18.8×8.8
66	《雪白釉四角小管 (未完)》		磁器	16.0×16.0×8.5
67	《霜白釉描色繪金彩温室育ち扁壺》	1991年	磁器	19.0×31.0×33.5
68	《霜白釉描色繪金彩華と虫壺》	1990年	磁器	14.0×24.5
69	《雪白釉八角小管 (未完)》		磁器	18.3×18.3×8.0

70	《霜白釉六角小管 (未完)》		磁器	17.4×19.5×5.5
71	《霜白釉四角小管 (未完)》		磁器	16.0×16.0×9.0
72	《雪白釉四角管 (未完)》		磁器	27.2×27.2×10.6
73	《雪白釉長四角管 (未完)》		磁器	15.8×29.0×7.5
74	《雪白釉四角管 (未完)》		磁器	26.4×26.4×7.8
75	《梅白釉四角管 (未完)》		磁器	27.0×27.0×11.6
76	《雪白釉十二角皿 (未完)》		磁器	38.2×5.5
77	《梅白釉香合 1 (未完)》		磁器	6.7×5.5×4.0
78	《梅白釉香合 2 (未完)》		磁器	7.0×4.8×3.8
79	《梅白釉香合 3 (未完)》		磁器	6.1×5.1×4.3
80	《梅白釉香合 4 (未完)》		磁器	5.9×6.3×3.5
81	《梅白釉香合 5 (未完)》		磁器	6.5×5.7×3.7
82	《梅白釉扁壺 (未完)》		磁器	19.0×25.6×34.8
83	《梅白釉長円管 (未完)》		磁器	19.4×30.4×8.81
84	《雪白釉十二角皿 (未完)》		磁器	39.5×4.5
85	《雪白釉扁壺 (未完)》		磁器	17.8×28.0×31.5
86	《梅白釉扁壺 (未完)》		磁器	19.1×31.0×33.0
87	《雪白釉扁壺 (未完)》		磁器	21.0×34.6×36.1
88	《雪白釉扁壺 (未完)》		磁器	15.4×25.0×26.6
89	《雪白釉扁壺 (未完)》		磁器	26.7×32.0×34.6
90	《景德鎮窯色絵童子試作壺》	1981年	磁器	15.0×15.0
91	《景德鎮窯色絵童女試作壺》	1981年	磁器	15.0×15.0
92	《梅白釉釉描色絵金銀彩溪流小禽図扁壺》	1988年	磁器	26.5×31.0×35.0
93	《雪白釉釉描色絵金銀彩花鳥図壺》	1990年	磁器	14.0×24.5
94	《雪白釉釉描色絵金彩五位鷺図八角小管》	1990年	磁器	19.0×19.0×8.5

※サイズの標記は、壺(奥×幅×高)または(径×高)、皿(縦×横×高)または(径×高)となっています。

※92～94は、市役所の開庁時間(午前8時半から午後5時)に2階の展示コーナーでご覧いただけます。

藤本工房より借用品一覧

《素描》	9点		
『画帳』	4点		
石膏型	1点		
テストピース	16点		
『中国旅行記』	1点		
『山形旅行走り書き』	1点		

常設展示				
	作品名	作家名	制作年	技法／支持体
	《奥多摩秋景》	小島善太郎	1983年	油彩／カンヴァス
	《孫二人》	小島善太郎	1971年	油彩／カンヴァス
	《鏡（髪）》	小島善太郎	1952年	油彩／カンヴァス
	《憩い》	小島善太郎	1965年	油彩／カンヴァス

会期中のイベント				
◎ ゲストスピーカーによる講演会とギャラリートーク				
演題：「藤本能道の創作の軌跡」	日時：12月10日（土）午後2時開始（午後1時30分から受付）			
講演者：高田瑠美氏（菊池寛実記念 智美術館 学芸員）	場所：美術館 講演会：1階 市民ギャラリー			
橋詰果歩氏（福井県陶芸館 学芸員）	ギャラリートーク：2階 第1・第2展示室			
末岡信彦氏（陶芸家）	定員：20人（先着）			
廣瀬義之氏（陶芸家）	参加費：無料（ただし要観覧券）			
◎ 学芸員によるギャラリーガイド				
日時：12月24日（土）、2023年1月8日（日）	定員：10人（先着）			
午前2時開始（午後1時30分から受付）	参加費：無料（ただし要観覧券）			

次回展覧会予告	
館蔵企画展「共通点を探せ！！あなたの気に入りはどれ？」	
会期：令和5年2月11日（土）～3月26日（日）	
趣旨：隣り合って展示された作品には、一見するとなんの脈絡もないが、よく見ると何かが共通し、次につながっていく。それぞれの作品の間にある共通点を探しながら、多様な美術の世界に触れ、自分の気に入りを見つけ出す、ゲーム感覚のユニークな展覧会。	